

お取引先様 各位

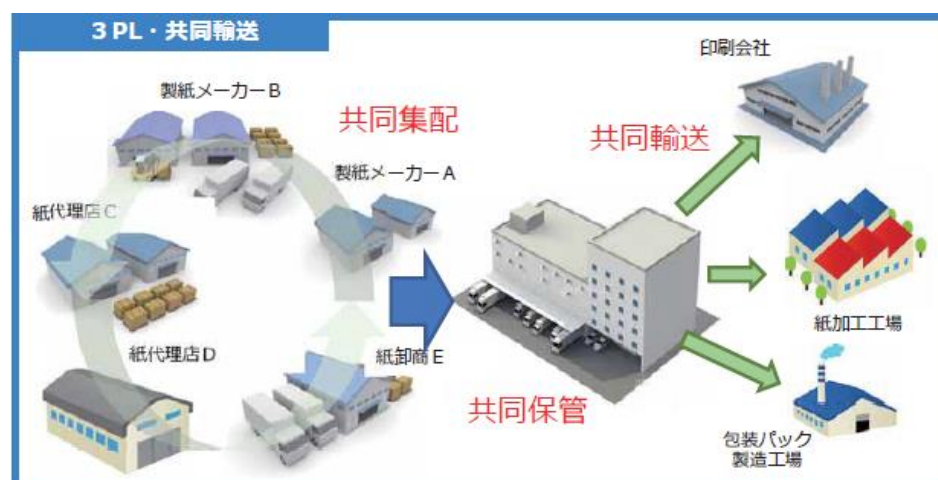
日本製紙連合会
 日本洋紙代理店会連合会
 日本板紙代理店会連合会
 日本洋紙板紙卸商業組合

紙・パルプ物流における今後の改善に向けた取組み

製紙産業では印刷媒体の電子化等に伴って物量の減少が予想される中、下記、紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の現状が、物流の担い手に対する負荷が大きく、今後のサプライチェーンの持続性への不安が喫緊の課題となっております。国交省より策定された「ガイドライン 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流編」を参考にお取引先様と一緒に働き方改革・ホワイト物流推進に取り組み、洋紙・板紙サプライチェーンが持続可能となるよう、ご理解とご協力の程、何卒、宜しくお願い致します。

◎紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の現状

1. サプライチェーン全体で、働き方改革・ホワイト物流推進を検討しなければならないタイミング。
2. 倉庫が点在し、出庫倉庫が多い(各メーカー毎に倉庫が点在)。
3. 翌日配送(前日依頼、翌日配送)・当日配送(当日依頼、当日配送)・時間指定配送(AM・PM・何時迄等の時間指定)・遠距離配送(印刷工場の郊外地化)があり、十分なリードタイムが確保できていない。
4. 付帯作業(荷卸し時のフォーク・クランプでの作業、危険な俵積み二段積み等)があり、荷渡条件が明確化されていない。
5. 少量多頻度納品が多く、発注単位や最低ロットが明確化されていない。



◎紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の今後の取組みについて

1. お取引先様には働き方改革・ホワイト物流推進のご理解とご協力をお願い致します。
2. **(共同物流)** 紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流の自助努力として、今後、各メーカー間での共同保管・共同輸送の仕組みを検討するとともに、併せて代理店や紙卸商の共同輸送の多角的実現等サプライチェーン全体の効率を考慮した共同倉庫の運用を推進して参ります。
3. **(リードタイム改善)** 手配については十分なリードタイムの確保をして頂くお願いとともに当日・翌日・時間指定等の手配内容について、各お取引様と協議・交渉をさせていただきます。尚、条件確定時には書面により確認させていただきます。
4. **(荷渡条件明確化)** 契約に定めのない荷卸作業内容について、各お取引様と協議・交渉をさせていただきます。尚、条件確定時には書面により確認させていただきます。また、警察署長の許可を得ないで行われる公道上的リフト等による荷役作業は道路交通法で禁止されております。サプライチェーン全体で法令遵守に努めるとともに、安全に配慮した活動を推進するためにも、皆様のご協力をお願い致します。
5. **(少量多頻度納品改善・最低ロット明確化)** 物量が減少していく昨今、少量多頻度納品を見直す為に発注単位や最低ロットの明確化をさせて頂き、その基準に満たない手配内容については、各お取引様と協議・交渉をさせていただきます。尚、条件確定時には書面により確認させていただきます。

※尚、今後の上記活動につきましては、独占禁止法等の法令を遵守しながら進めて参ります。

参考

荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けた ガイドライン(概要)

紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流における 今後の取組みの方向性

荷主と運送事業者の協力による
取引環境と長時間労働の改善に向けた
ガイドライン



紙・パルプ(洋紙・板紙分野)物流編



紙・パルプ(洋紙・板紙分野)における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会



1. サプライチェーンにおける物流コストの適正な負担について

- 今後さらに物量が減少していくと予想、物量の変化に合わせた輸送効率化策を検討する必要がある。
- 実現するにあたってはサプライチェーンの関係者の理解と協力が不可欠。
- 設備投資等のためのコストを誰が、どのように負担していくかということもまた重要な視点。
- 現状、物流改善のためのコストは、これを実施しようとする当事者が負担。
- サプライチェーン全体で、消費者も含めて適正な物流コストを負担しなければならないタイミング。
- とくに製品価格への物流費の転嫁や、製品価格と物流費を別建てとすることを視野に入れるのであればなおのこと、具体的に課題と対策を提示したうえで議論を進めていく必要がある。

2. 共同保管及び共同配送の実現に向けて(サプライチェーンの効率化)

- 洋紙・板紙分野における検討の方向性の一つとしては、共同保管、共同配送が挙げられる。
- 首都圏においては、隅田川地区、新座地区、有明地区、板橋地区等にメーカー在庫倉庫が集中。
- 一部、各メーカーの在庫が同棟となっている倉庫については複数の代理店で共同輸送が行われている。
- 在庫が別棟となっている倉庫については、共同輸送を実施する場合に、各倉庫において荷物を積み込むために発生するコストを吸収できず、輸送の集約が困難になっている。
- 流通業務の総合化(輸送、保管、荷さばき及び流通加工を一体的に行うこと。)の進展に伴い、倉庫に求められる役割についても多様化してきている。
- 紙・パルプの倉庫は床耐荷重が求められることから倉庫の集約化や建て替えは容易ではない。
- 短期的には、もともと一地域に各メーカーの在庫倉庫が集中しているという利点を活かしたメーカー間での共同保管・共同輸送の仕組みを検討。
- 中長期的には、代理店や紙卸商の共同輸送の実現等サプライチェーン全体の効率を考慮したメーカー共同倉庫の設置などが求められる。

3. 十分なリードタイムの確保の必要性について(当日・翌日・時間指定の抑制)

- 共同輸送の実施には、積み合わせる荷物の調整や倉庫側での荷揃え作業等を行うための十分なリードタイムの確保が必要となる。
- 発注期限の前倒し(可能な限り発注から納品までの期間を中1日以上とすることが望ましい。)等について、例えば印刷工場等の紙の発注元、さらには印刷工場に印刷を依頼する出版社・広告代理店等の関係者と、下版日の早期化を検討することも含め、速やかに協力関係を構築していく必要がある。
- リードタイムを確保することで、当日・翌日・時間指定等の運送会社に負担となる配送の抑制、配車の効率化による積載率向上等が実現できる。

4. 附帯作業の軽減(役割分担の明確化)

- 附帯作業に関する実態調査において、手荷役での荷積み、荷降ろしや倉庫での棚入れ、パレットの積み替え等の作業を、契約書面等で明確化されないままトラックドライバーが実施している実態が浮き彫りとなった。
- 手荷役等のトラックドライバーの長時間労働の原因となる附帯作業については関係者間で機械化を進めるなど改善していく必要がある。
- 附帯作業として行われている作業は誰かがやらなければならないものでもあることから、関係者間で作業の内容や実施者を契約上明確化させていく必要がある。
- 実態調査においては、附帯作業にかかる料金が適正に収受できていない実態も明らかに。
- 附帯作業の役割分担の明確化とともに、トラックドライバーがこれを行う場合は、標準貨物自動車運送約款の趣旨に鑑み、「積込料」、「取卸料」等料金として収受できるように取引条件等を見直していくべきである。
- 紙・パルプ分野においてはロール紙等重量のある製品も存在し、特に「俵二段積み」の「割り落とし」など危険が伴う作業が行われていることから、女性や経験年数の少ないトラックドライバーでもこの輸送に従事できるようにするためには、機械荷役への転換等により安全な方法で作業が行うことができるよう改善を進めていくべきである。

5. 物量の平準化に向けて(最低ロットの明確化(車単位又はパレット単位))

- 物量の集中によるトラックの荷待ち時間の解消や、トラックの稼働の波動を解消するためには、物量の平準化を図っていくということが重要である。
- 洋紙・板紙が主な資材の一つとなる雑誌、書籍等の出版物については、出版社が印刷会社に印刷を依頼するが、印刷会社は製紙メーカーやその代理店に印刷用の紙を発注するため、出版物の発売日や出版社の印刷会社への発注の納期の設定が洋紙・板紙のサプライチェーン全体の物量に大きな影響を与えることになる。
- 今後の物量が減少していくということを前提とするとしても、一定の輸送効率を確保するためには少量多頻度納品を見直すことが必要。
- 発注単位を車両単位やパレット単位に集約するなど、最低ロットを確保し物量を平準化するための取組みを進めていかなければならない。